

総合情報学研究科

総合情報学
研究科共通

研究指導概要

博士前期課程

指導内容とスケジュール

1. 各セメスタの指導内容

1 セメスタ

- ・修士論文のテーマを決め、それを複数の補題に分け、それぞれを証明するための研究計画を立案する。
- ・日本語論文を執筆し、新規性や有用性を意識して論旨を明確にまとめること、所定の書式に沿って清書すること等を訓練する。
- ・論文題目にあわせ、基礎科目・専門科目を履修指導する。
- ・学期末に要旨（英文2ページとその原文）を提出し、中間発表を行う。

2 セメスタ

- ・研究計画に沿って実験を計画・実施し、修士論文としての提案内容を作成する。
- ・国内学会等において研究発表を行い、プレゼンテーション能力及び質疑応答の訓練をする。
- ・自らの問題意識に基づいて研究関連分野の最近の研究活動の状況等のレビュー作成を指導する。
- ・到達目標を踏まえた達成状況に応じて、研究計画の確認や見直しを行う。
- ・学期末に要旨（英文4ページとその原文）を提出し、中間発表を行う。

3 セメスタ

- ・作成した修士論文の提案内容の有用性を実験を通じて証明し、その成果を国際学会等にて発表する。
- ・英語論文を執筆し、各分野固有の専門用語や英語表現に習熟する。
- ・確定した研究テーマに基づいて調査、実験を行い、研究方法の妥当性を検証しつつ、研究成果のとりまとめを行う。
- ・学期末に要旨（英文6ページとその原文）を提出し、中間発表を行う。

4 セメスタ

- ・国際学会等で発表した研究成果を元に、修士論文を完成させる。
- ・英語による論文発表ないし口頭発表を、学術的価値を広く一般に認知された場で行う。
- ・英語論文による発表を行う。
- ・修士論文の骨子について、検討する。
- ・研究精度を高め、修士学位論文にまとめる。

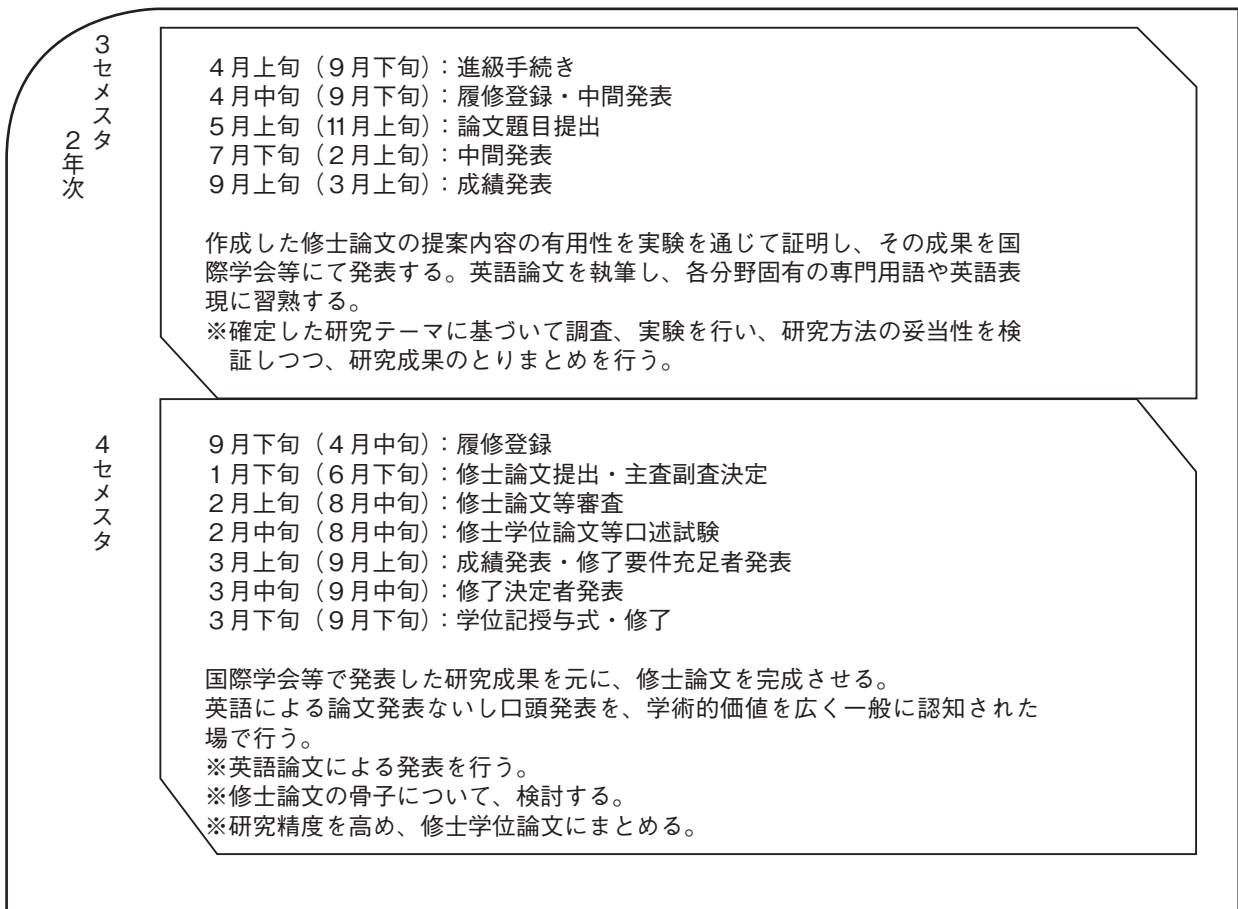
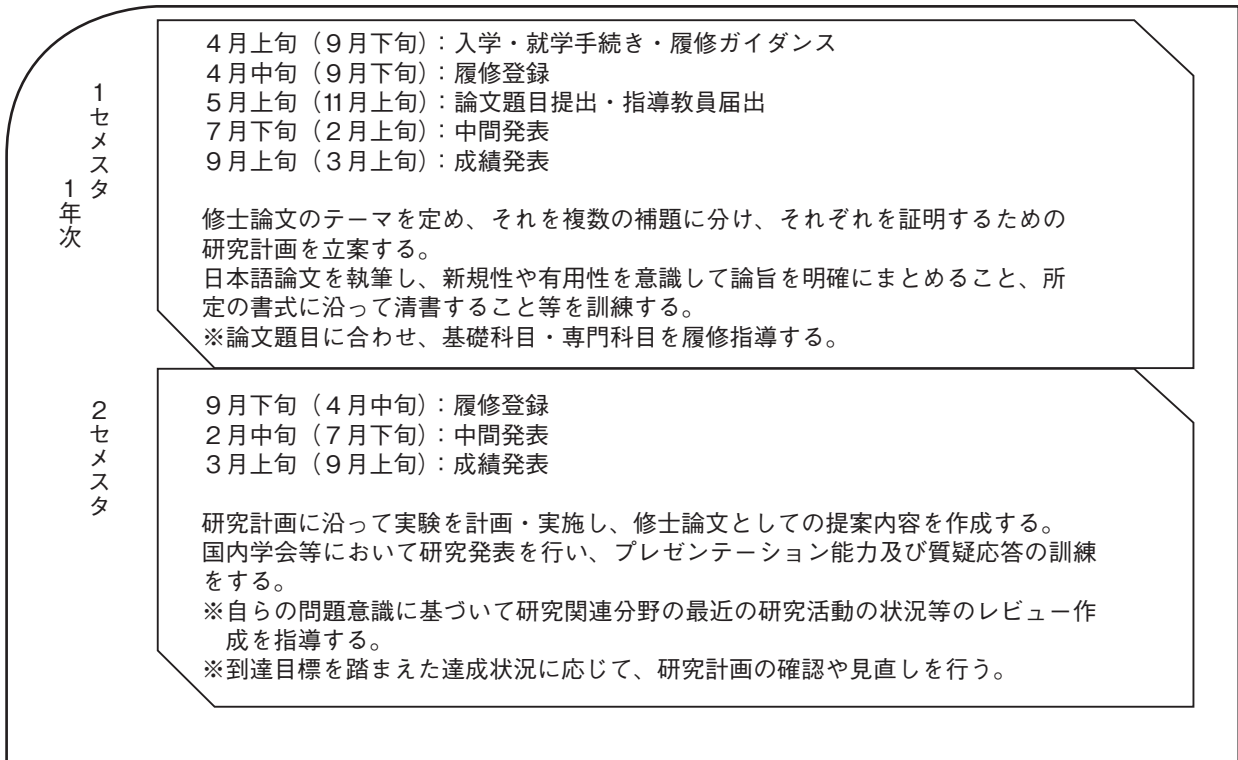
2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

毎学期の中間発表会に論文要旨をまとめて報告をしなければならない。日時、場所等は後日周知する。

報告は1人10分（質疑応答を含む）とし、各自レジュメ50部用意し、当日持参すること。

修士課程在籍者は、学年等の如何を問わず報告を聞くことが可能なので、積極的に参加することが望ましい。

中間発表会では、和文・英文両研究概要の提出を課し、その内容が一致することや、研究の進捗状況を、全教員の参加する場で、多角的な視点で確認する。これら研究概要は特別研究の進行に応じて、1セメスタ目：2枚、2セメスタ目：4枚、3セメスタ目：6枚、4セメスタ目：6枚とし、情報系学会でスタンダードとなりつつある6枚を仕上げて学外での発表につなげる。



博士後期課程

指導内容とスケジュール

1. 各セメスタの指導内容

①1セメスタ

- ・論文題目に合わせ、実験装置の操作技術を修得する。
- ・研究計画を立案し、調査、実験等の研究方法を確認する。

②2セメスタ

- ・国際学会での論文投稿や学会発表を視野に、研究に関連する英語のレビュー作成の指導を受ける。
- ・研究テーマに関連した英語によるプレゼンテーションと討論を経験し、英語のプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養う。

③3セメスタ

- ・確定した研究テーマに基づいて調査、実験を行う。
- ・研究方法の妥当性を検証し、研究成果のとりまとめと評価を行う。

④4セメスタ

- ・自らの問題意識に基づいて研究関連分野の最近の研究活動の状況等のレビュー作成指導を受ける。
- ・研究精度を高め、博士論文に活かすため、国内外の学会発表等に積極的に取り組めるよう指導を受ける。

⑤5セメスタ

- ・国内外での論文投稿、学会発表を通じて、研究の精度や内容の充実を図る。

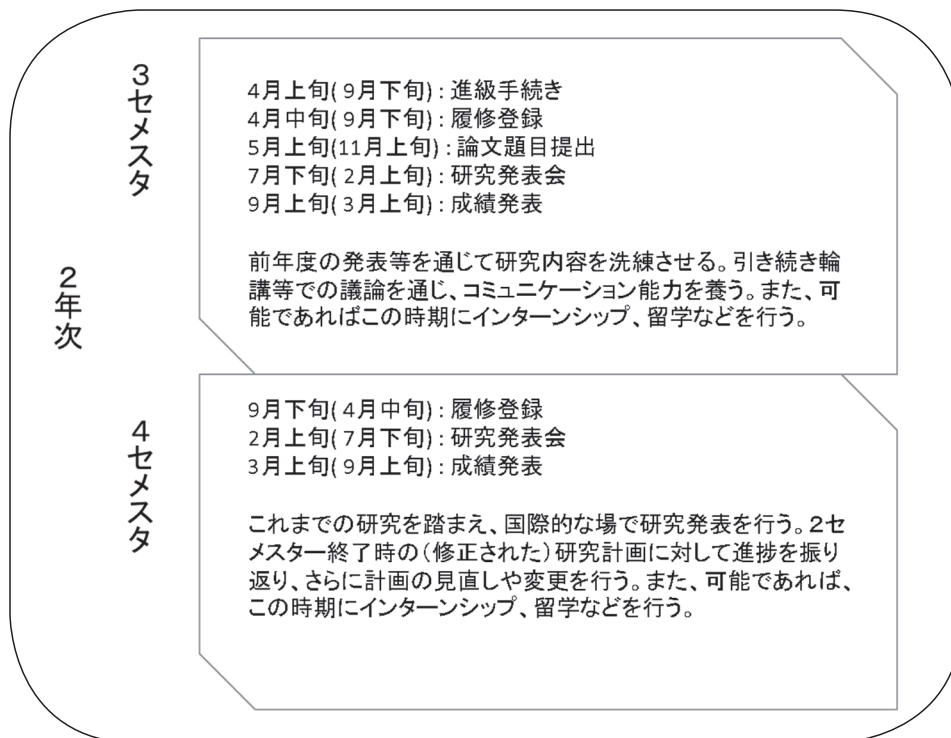
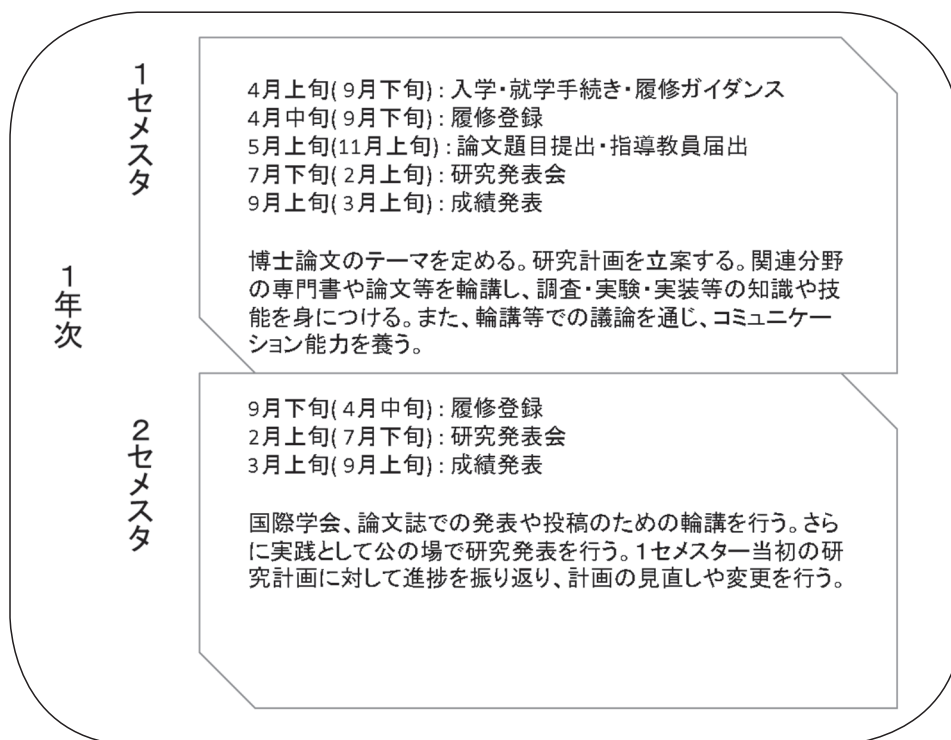
⑥6セメスタ

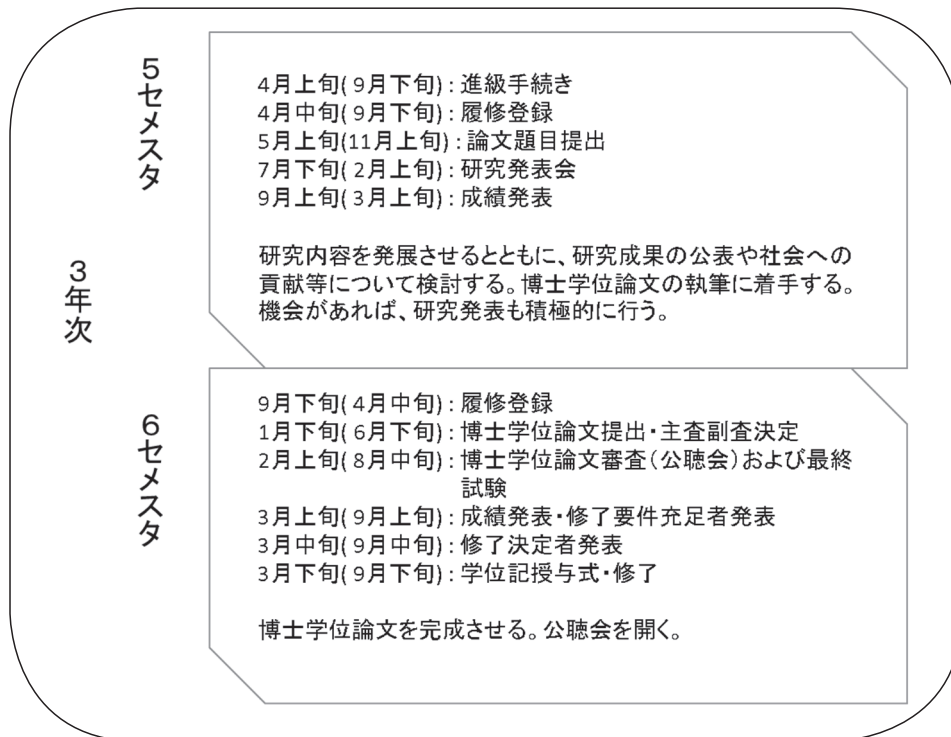
- ・掲載論文数を確認し、博士論文の骨子を検討する。
- ・研究精度を高め、博士学位論文にまとめる。

2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

博士学位論文公聴会は、博士学位論文審査の過程で博士学位論文審査委員会が公聴会の日程を設定し、公聴会は学内外へ原則公開する。ただし、特許等が関連する発表においては、「特許が関わる場合の学位論文提出について」に沿って、審査者のみならず会議及び発表会参加者とも秘密保持誓約書を取り交わすと共に、発表会は大学の主催もしくは共催とし、特許出願要件を損なわない配慮をして開催する。

博士学位論文公聴会の日程、当日説明資料、スライド、発表時間等は、専攻毎に指示があるので、指導教授の指示に従うこと。

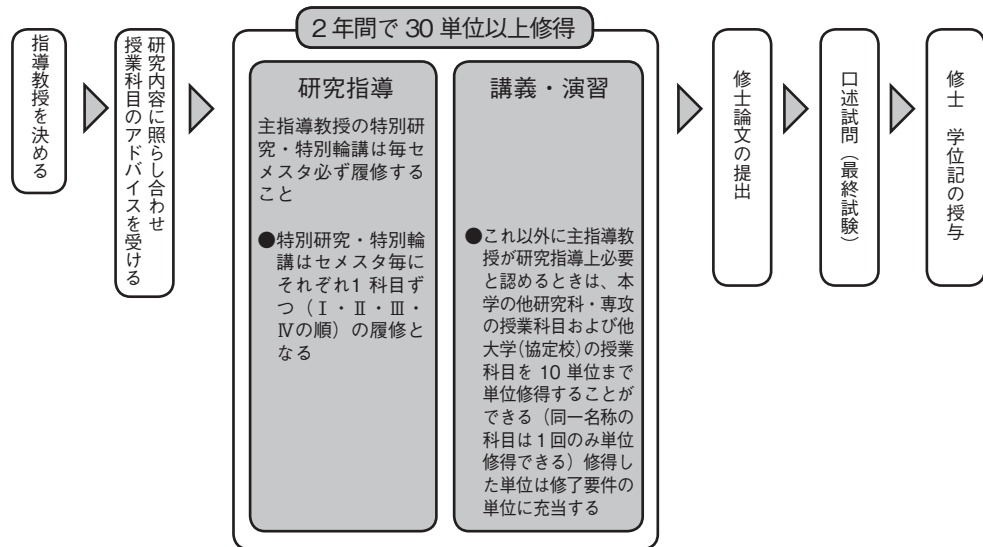




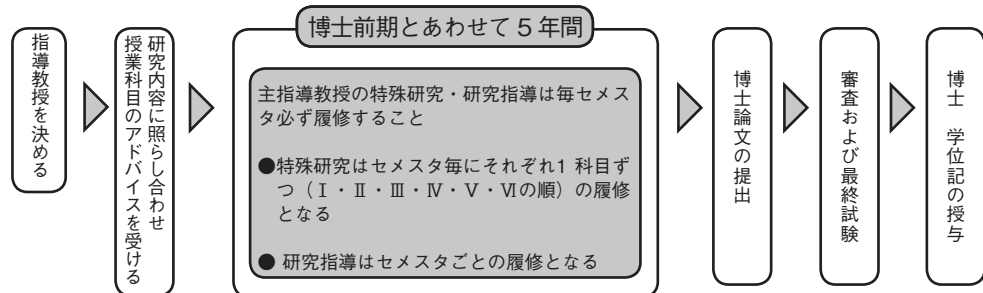
※6セメスタの前半までに、査読付き論文2件（うち1件は英語）の投稿・採択と英語口頭発表1件の発表を目指す。

総合情報学専攻

前期課程 履修の流れ



後期課程 履修の流れ



※本専攻では、自身の研究を一層深めるために、研究指導の一環として、海外における調査・研究や学会への参加・発表を奨励しています。

総合情報学専攻 (Course of Information Sciences and Arts)

修士課程 (Master's Program)

授業科目・研究指導 Title	講義・演習の別 Lecture or Research	単位 Unit	科目ナンバリング Numbering Code	職名 Job Titles at University	担当教員 Academic Staff	備考 Notes
◇システム情報分野 ◇ System Informatics Field						
IT ビジネス マネジメント IT Business Management	講義 Lecture	2	MAN602			本年度休講(隔年開講) No class in 2019
ソーシャルマーケティング特論 Advanced Lecture on Social Marketing	講義 Lecture	2	CME603			本年度休講(隔年開講) No class in 2019
環境情報デザイン特論 Advanced Lecture on Environmental Information Design	講義 Lecture	2	DEV604	教授 Professor	小瀬博之 Hiroyuki Kose	
ソフトウェア工学特論 Advanced Lecture on Software Engineering	講義 Lecture	2	SOF605	教授 Professor	土田賢省 Kensei Tsuchida	
アルゴリズム特論 Advanced Lecture on Algorithms	講義 Lecture	2	THI624	教授 Professor	三原孝志 Takashi Mihara	
クラウドコンピューティング Cloud Computing	講義 Lecture	2	SOF607	教授 Professor	上原稔 Minoru Uehara	
◇メディア情報分野 ◇ Media Informatics Field						
メディア情報学特論 Advanced Lecture on Media Informatics	講義 Lecture	2	LIH608	教授 Professor	藤本貴之 Takayuki Fujimoto	
メディア文化特論 Advanced Lecture on Media and Culture	講義 Lecture	2	SOC609			本年度休講(隔年開講) No class in 2019
マルチメディア特論 Advanced Lecture on Multimedia	講義 Lecture	2	MUD610	教授 Professor	中林靖 Yasushi Nakabayashi	
メディアプランニング特論 Advanced Lecture on Media Planning	講義 Lecture	2	SOC611	教授 Professor	藤本貴之 Takashi Fujimoto	
C G 特論 Advanced Lecture on Computer Graphics	講義 Lecture	2	EGI612	准教授 Associate Professor	村上真 Makoto Murakami	
映像メディア特論 Advanced Lecture on Visual Media	講義 Lecture	2	EGI613			本年度休講(隔年開講) No class in 2019
メディアコンテンツ特論 Advanced Lecture on Media Contents	講義 Lecture	2	EGI614	教授 Professor	多田光利 Terutoshi Tada	
メディアデザイン特論 Advanced Lecture on Media Design	講義 Lecture	2	DES615	教授 Professor	藤本貴之 Takayuki Fujimoto	
ネットワークシステム特論 Advanced Lecture on Network Systems	講義 Lecture	2	HPC635	教授 Professor	塩谷隆二 Ryuji Shioya	
◇心理・スポーツ情報分野 ◇ Psychological and Sports Informatics Field						
インタラクティブデザイン Interaction Design	講義 Lecture	2	HII616			本年度休講(隔年開講) No class in 2019
心理統計特論 Advanced Lecture on Statistics for Psychology	講義 Lecture	2	STS617			本年度休講(隔年開講) No class in 2019
心理アセスメント特論 Advanced Lecture on Psychological Assessment	講義 Lecture	2	CLI618	准教授 Associate Professor	喜岡恵子 Keiko Kioka	
シミュレーション特論 Advanced Lecture on Simulation	講義 Lecture	2	CMS619	教授 Professor	田村善昭 Yoshiaki Tamura	
認知心理学特論 Advanced Lecture on Cognitive Psychology	講義 Lecture	2	CGS620			本年度休講(隔年開講) No class in 2019
心理生体情報学 Psychobiology and Information	講義 Lecture	2	BEB621	教授 Professor	加藤千恵子 Chieko Kato	
スポーツ人間科学 Sports and Human Sciences	講義 Lecture	2	SPS636			本年度休講(隔年開講) No class in 2019
3DCGを用いた心理・スポーツデザイン 3D Computer Graphics for Psychology and Sports Design	講義 Lecture	2	SPS637	教員教授 Visiting Professor	加藤千恵子 高橋信雄 Chieko Kato Nobuo Takahashi	
言語情報学特論 Advanced Lecture on Language and Information Sciences	講義 Lecture	2	LIN638	教授 Professor	湯舟英一 Eiichi Yubune	
◇共通分野 ◇ Common Field						
プログラミング特論 Advanced Lecture on Programming	講義 Lecture	2	SOF622			本年度休講(隔年開講) No class in 2019
データマイニング Data Mining	講義 Lecture	2	STS623			本年度休講(隔年開講) No class in 2019

授業科目・研究指導 Title	講義・演習の別 Lecture or Research	単位 Unit	科目ナンバリング Numbering Code	職名 Job Titles at University	担当教員 Academic Staff	備考 Notes
プロジェクト演習 Exercises in Problem Based Learning	演習 Research	2	SEM625	教授 Professor	杉本 富光 利之次 多田 博裕 志二 小島 瀬田 孝隆 三塩 原 裕 教授 教授 教授 Futoshi Sugimoto Terutoshi Tada Hiroyuki Kose Yuji Shimada Takashi Mihara Ryuji Shioya	共同
情報処理技術演習 Information Processing Technology Exercises	演習 Research	2	SEM626	教授 Professor	上原 裕次 島三 田 孝 三 原 裕 教授 教授 Minoru Uehara Yuji Shimada Takashi Mihara	オムニバス方式
総合情報学のための英語表現法 English expression method for Information Sciences and Arts	講義 Lecture	2	ENG639	教授 Professor	湯舟 英一 教授 Eiichi Yubune	
◇研究指導 ◇ Research Review						
総合情報学特別研究Ⅰ Advanced Research in Information Sciences and Arts I	演習(必修) Research (compulsory subject)	2	REG627		(各指導教員) 上原、加藤、小瀬、塩谷、島田、 杉本、田村、土田、中林、藤本、 三原、湯舟、大塚、村上 (Supervisors) Uehara, Kato, Kose, Shioya, Shimada, Sugimoto, Tamura, Tsuchida, Nakabayashi, Fujimoto, Mihara, Yubune, Ohtsuka, Murakami	
総合情報学特別研究Ⅱ Advanced Research in Information Sciences and Arts II	演習(必修) Research (compulsory subject)	2	REG629			
総合情報学特別研究Ⅲ Advanced Research in Information Sciences and Arts III	演習 Research	2	REG631			
総合情報学特別研究Ⅳ Advanced Research in Information Sciences and Arts IV	演習 Research	2	REG633			
総合情報学特別輪講Ⅰ Advanced Seminars in Information Sciences and Arts I	演習(必修) Research (compulsory subject)	2	REG628			
総合情報学特別輪講Ⅱ Advanced Seminars in Information Sciences and Arts II	演習(必修) Research (compulsory subject)	2	REG630			
総合情報学特別輪講Ⅲ Advanced Seminars in Information Sciences and Arts III	演習 Research	2	REG632			
総合情報学特別輪講Ⅳ Advanced Seminars in Information Sciences and Arts IV	演習 Research	2	REG634			

博士後期課程 (Doctoral Program)

授業科目・研究指導 Title	講義・演習の別 Lecture or Research	単位 Unit	科目ナンバリング Numbering Code	担当教員 Academic Staff
◇研究指導 ◇ Research Review				
◇システム情報分野 ◇ System Informatics Field				
システム情報特殊研究Ⅰ Advanced System Informatics Research I	講義 Lecture	義	REG701	(各指導教員) 上原、土田、三原、大塚 (Supervisors) Uehara, Tsuchida, Mihara, Ohtsuka
システム情報特殊研究Ⅱ Advanced System Informatics Research II	講義 Lecture	義	REG702	
システム情報特殊研究Ⅲ Advanced System Informatics Research III	講義 Lecture	義	REG703	
システム情報特殊研究Ⅳ Advanced System Informatics Research IV	講義 Lecture	義	REG704	
システム情報特殊研究Ⅴ Advanced System Informatics Research V	講義 Lecture	義	REG705	
システム情報特殊研究Ⅵ Advanced System Informatics Research VI	講義 Lecture	義	REG706	
◇メディア情報分野 ◇ Media Informatics Field				
メディア情報特殊研究Ⅰ Advanced Media Informatics Research I	講義 Lecture	義	REG707	(各指導教員) 塩谷、田村、中林、藤本 (Supervisors) Shioya, Tamura, Nakabayashi, Fujimoto
メディア情報特殊研究Ⅱ Advanced Media Informatics Research II	講義 Lecture	義	REG708	
メディア情報特殊研究Ⅲ Advanced Media Informatics Research III	講義 Lecture	義	REG709	
メディア情報特殊研究Ⅳ Advanced Media Informatics Research IV	講義 Lecture	義	REG710	
メディア情報特殊研究Ⅴ Advanced Media Informatics Research V	講義 Lecture	義	REG711	
メディア情報特殊研究Ⅵ Advanced Media Informatics Research VI	講義 Lecture	義	REG712	

授業科目・研究指導 Title	講義・演習の別 Lecture or Research	単位 Unit	科目ナンバリング Numbering Code	担当教員 Academic Staff
◇心理・スポーツ情報分野 ◇ Psychological and Sports Informatics Field				
心理・スポーツ情報特殊研究Ⅰ Advanced Psychological and Sports Informatics Research I	講義 Lecture	義	REG713	(各指導教員) 加藤、湯舟、村上 (Supervisors) Kato, Yubune, Murakami
心理・スポーツ情報特殊研究Ⅱ Advanced Psychological and Sports Informatics Research II	講義 Lecture	義	REG714	
心理・スポーツ情報特殊研究Ⅲ Advanced Psychological and Sports Informatics Research III	講義 Lecture	義	REG715	
心理・スポーツ情報特殊研究Ⅳ Advanced Psychological and Sports Informatics Research IV	講義 Lecture	義	REG716	
心理・スポーツ情報特殊研究Ⅴ Advanced Psychological and Sports Informatics Research V	講義 Lecture	義	REG717	
心理・スポーツ情報特殊研究Ⅵ Advanced Psychological and Sports Informatics Research VI	講義 Lecture	義	REG718	
総合情報学研究指導 Supervised Information Sciences and Arts	演習 Research	習	REG719	(各指導教員) 上原、加藤、塩谷、土田、中林、 藤本、三原、湯舟、大塚、村上 (Supervisors) Uehara, Kato, Shioya, Tsuchida, Nakabayashi, Fujimoto, Mihara, Yubune, Ohtsuka, Murakami

【修了に必要な単位等】

博士前期課程

- (1) 修了要件となる科目で、共通分野のいずれか4単位を含む30単位以上修得すること。
- (2) 主指導教授の「総合情報学特別研究」、「総合情報学特別輪講」は、原則としてⅠ～Ⅳを修得すること。

【履修方法】

博士前期課程

1. 修了要件となる科目で、共通分野のいずれか4単位を含む30単位以上修得しなければならない。
2. 原則として総合情報学特別研究Ⅰ～Ⅳ、総合情報学特別輪講Ⅰ～Ⅳの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。
長期履修生は延長したセメスタにおいて、研究指導科目を全て単位修得しているときは特別研究Ⅳと特別輪講Ⅳをその都度履修登録すること。
(特別研究Ⅳと特別輪講Ⅳで修了要件の単位に充当するのは、それぞれ2単位のみとする。)
3. 授業科目の履修にあたっては、指導教授の指示を受けなければならない。
4. 本表に掲げたものの他、主指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目を10単位まで単位修得することができる(同一名称の科目は1回のみ単位修得できる)。
修得した単位は修了要件の単位に充当する。
5. 修士論文の作成にあたっては、指導教授の研究指導を受けなければならない。
6. 総合情報学研究科の科目は、2016年度以降入学生の履修科目である。

博士後期課程

1. 研究指導科目の履修は、システム情報分野またはメディア情報分野または心理・スポーツ情報分野のいずれかの分野を選択し、原則として、「特殊研究Ⅰ～Ⅵ」の履修は、主指導教授の科目で、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。
ただし、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、他の指導教授の科目で同じローマ数字の「特殊研究」をあわせて履修することができる。
- 2 「総合情報学研究指導」を各セメスタで履修登録しなければならない。
3. 研究指導科目は、主指導教授の科目を選択すること。
4. 授業科目は指導教授の指示により履修することができる。また、本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を履修することができる。

客員教授

大学院の教育研究の高度化・活性化・国際化を促進するため、学外研究機関等で活躍している研究者等に研究指導等をお願いしているため、指導を希望する場合は、所属の指導教員に申し出ること。
高橋信雄(名古屋市立大学大学院教授)

メディアを利用して行う授業

この制度では、海外留学や長期インターンシップ等へ参加する学生が、主指導教授及び研究会委員により教育研究上必要と認められた場合、一部の科目を海外等からメディアを利用して受講できる。交換留学等を検討している学生は、詳細を教学課へ問い合わせること。